



やまとそん
議会
だより

第 82 号

令和 4 年 5 月発行
議会：議会広報委員会
発行：大和村議会
電話 0997-57-2216（直通）
FAX 0997-57-2967

一般質問（5人）	P2～7
令和4年度当初予算可決	P8～9
令和4年度予算審査特別委員長報告	P10～12
提出議案の主な内容	P13
議会の動き・編集後記	P14

【表紙写真】ハート形のすももを発見!皆さんに幸運のお福分け

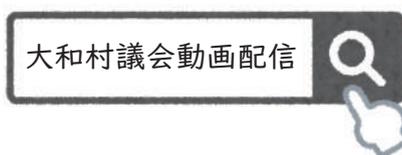
5 議員からの一般質問

村政を問う!!

3月定例会では、5名の議員が村政全般にわたる施策の状況や方針などについて、村当局に問い質（ただ）しました。質問と答弁を要約した内容は、3ページから7ページです。

動画サイト「^{ユーチューブ} YouTube」で議会を配信しています!

大和村ホームページからもご覧いただけます



QRコード

令和4年第1回 大和村議会定例会一般質問

3/8 ① 0:40 ~ 45:10

市田 実孝 議員

- 1 津波警報の対応状況について
- 2 子育てにやさしい公園整備について

3/8 ① 45:50 ~ 1:37:15

藏 正 議員

- 1 防災対策について
- 2 クロウサギ被害対策について
- 3 地域資源を活かした特産品開発について

3/8 ② 0:17 ~ 28:40

中井 文忠 議員

- 1 避難所及びトイレの設置は出来ないか
- 2 アカ木の除去について

3/8 ② 28:52 ~ 1:29:00

前田 清和 議員

- 1 奄美フォレストの管理・利用について
- 2 簡易水道事業について
- 3 コロナ感染症対策について

3/8 ③ 0:05 ~ 57:55

勝山 浩平 議員

- 1 介護職、保育士の賃上げに向けて
- 2 子どもの習い事費用の助成について
- 3 津波避難対策の強化・充実に向けて
- 4 第6次総合振興計画について



第1回定例会の様子



市田 実孝 議員

津波警報の対応状況について

問 村民の高台への避難で混乱や問題はなかったか。今後の防災のため検証などなしたのか

答 夜間の突発的な避難警報でもあり、高台への車両の誘導に混乱が生じた事と、長時間に及ぶ避難で、トイレの利用や避難解除前の帰宅者など、いくつかの問題があったため、避難誘導の在り方や情報連絡体制の再構築を含め、庁舎内でも検証・検討を行なった。

問 市町村では個別避難計画が作成されているが、村の避難体制はどのように計画されているか

答 各自主防災組織規約をもとに集落防災計画が作成され、要援護者の対応についても取り決めがされている。今後大和村災害時要援護者の避難支援プランを各自主防災組織や福祉部局関係者の協力を得ながら新たな大和村避難個別計画作成を予定している。



子育てにやさしい公園について

問 今後公園の整備で噴水がある公園は検討できないか

答 噴水施設の整備については、整備費用負担や維持管理に関する経費の発生から、これまで整備した公園の利用状況も見ながら検討する。

問 集落別に指定された高台の避難場所を確保しているのか

答 大和村地域防災計画において、村内17か所を指定し、防災訓練に合わせ避難経路の確認と共に巡視による現状の確認も行っている。

問 宮古崎駐車場の上下駐車場を結ぶ県道沿いに遊歩道を検討できないか

答 県の魅力ある観光地づくり事業でサンセットパークから宮古崎入口までの遊歩道整備が出来るよう要望をしたが、宮古崎トンネル開通後の交通量の状況を見たうえで、再度遊歩道の要望を考えていく。



蔵 正 議員

防災対策について

要介護者対策に
課題有り!!

問 津波警戒避難時に見えた
課題と対策について

答 避難指示解除までの見通しが立たずに長時間の避難を要したこと、トイレ、飲料水、車両の混雑等の課題が挙げられた。今後の対策として、学校施設等を利用することで課題解消を図る。

問 大和の園の入園者の避難は万全に行われたか

答 利用者46名を職員及び消防団員総勢18名で怪我無く戸円の避難所に誘導できた。避難に1時間15分かかったことや介護用品の備蓄等の課題が挙げられ、利用者の乗車箇所の増設で時間短縮が可能であると検証した。また、利用者家族との安否情報の連絡体制が不備であったと反省している。スマートフォンの活用等による連絡体制の整備を図っていく。

問 在宅の要介護者への対応はどうか

答 介護依存度の高い方83名の名簿があるが、搬送手段に苦慮したことや避難を拒否した人もいたことが課題に挙げられた。今後は、福祉関係部局との連携強化と情報の共有を計り、要介護者に特化した避難訓練の方法も考慮しながら在宅介護者の有効な非難に努めていく。

クロウサギ被害対策について

タンカンの樹の皮をかじらないで!!

問 福元地区のクロウサギの被害が増えてきているが、どのような対策を講じているのか



クロウサギにかじられたカンタンの樹皮

答 令和4年度から被害の多い地区から計画的に金網柵を整備していく。被害地域が広範囲なため、福元地区が完了するのに5・6年はかかる。新植した苗木の防護対策として行燈型に囲むためのビニールや支柱の補助を行い対応する。

地域資源を活かした特産品開発について

ワイルドボアーカーレー? 暴れん坊が
おいしく変身!!

問 イノシシ駆除と連動して、ジビエ商品を開発し本村の特産品化を図るべきではないか。「誰がやるのか?」の観点から特産品開発室等の考えも必要ではないか

答 捕獲実績から食肉に利用できる成獣は22頭で特産品化を図るには十分な量がなく、以前のように加工品に携わっている人がいない。また、食品衛生法上の厳しい衛生基準のクリアなど課題も多い。特産品開発室については今のところ考えていないが、商品化が進んでいないことは認識しており、専属を置かない限り物事が持続的にできないとも思っている。再度職員と協議して様々な角度からの商品開発への取り組みを進める。



中井 文忠 議員

避難所及びトイレの設置は出来ないか

問 トンガ沖海底火山の噴火を受け奄美大島トカラ列島に津波警報が発令され、高台へ車で避難をしたが、その中でトイレの設置と介護の必要な方の手助けの必要性を感じた。今後どのような対策を行うのか

答 地震、津波を想定した避難場所は17カ所指定。内13カ所でトイレが設置されており、簡易トイレを各自自防災組織で管理していただくよう、早急な対応を図りたい。介護の必要な方について、自主防災

組織や集落消防団による声かけを行った。現在避難時に応援が必要な方の調査をしており、関係部署への情報共有の同意をもらい、防災部局及び福祉部局並びに自主防災組織と消防団の情報共有を行い、有事の際誰がどのように避難させるのか、自主防災組織、集落、村関係機関と連携し介護の必要な方への避難対応に努めたい。



アカ木の除去について

問 フォレストポリス公園（管理棟）のサツキの植込みに何十本とアカ木の苗が芽をふきだしている。対策はどのようにするのか

答 公園内の街路樹等の植込みに生えているアカ木については確認しており、指定管理者が植込みの選定の際に、その都度切っている状況である。樹勢が非常に強いので、切った後に薬剤を注入し完全に枯らす必要があると思っている。

問 以前にも質問をしているが、その後の対策はどのようなのか

答 質問後調査を行ったが、駆除の実施まで行っておらず対応していないことに対し、お詫び申し上げたい。アカ木は雌雄異種のため、最低でも雌のアカ木を処分すれば農地への広がりは防げると思う。アカ木をどうかしなければならぬ問題であるとは認識している。指定管理者、公園利用者、環境省等の意見を聞きながら対応したい。



奄美フォレストポリスのアカ木



前田 清和 議員

奄美フォレストポリスの管理・利用について

問 指定管理者委託料の増額の要因は

答（産業振興課課長）消費税増税、光熱水費、食材等物価も上昇、最低賃金もアップしているなどの社会情勢の変化によるもの、また、近年管理施設が増えたこと、それに伴う電気料金の増分も含め策定した結果によるものである。

問 今後のグランドゴルフ利用料金について、交流人口の増加を見込み、又本村への誘致活動を図る上でも、無料化が出来ないか

答 料金の無料化は指定管理者の収入減となるため、行政から一方的に言えないところ、しかしながら指定管理者のほうでは、今年度中にグランドゴルフ関係者と使用料の無料化について協議を行う計画をしている。

簡易水道事業について

問 災害時の対応について、どのような体制でいるのか

答 災害時の体制につきましては、大和村簡易水道事業危機対応マニュアルを策定しまして、災害時の体制、職員の体制を整えております。

問 施設の老朽化、維持管理について、今後どのような対策を考えているのか

答 浄水場施設については45年、水道管管路については35年が経過しており、状況に応じ補修等を実施し施設の延命化を図

つています。また、維持管理として、現状の把握及び分析、適切な財源確保の目標を定めた経営戦略や、中長期施設維持管理計画を策定し、補助事業を活用しながら安心・安全な水道水の供給に努めたい。

問 施政方針において、公営企業会計移行の検討とあるが、具体的にどのようなものなのか、又どういったメリットをもたらすのか

答 国からの要請により、遅くとも令和6年4月から開始する公営企業会計移行に移行しなければなりません。現在、財務摘要である現在の複式簿記から、単式簿記から公営企業会計へ移行になる。経営や資産等の正確な把握による経営管理の向上等が図られ、弾力的な経営を行うことが可能になる。

コロナ感染症対策について

問 今後のコロナ感染症（第7波）に備え、村としての対応はどのように考えているのか

答 大和診療所とも協力をしながら早期に独自の調査を行い、関連疑いのある方については、いち早く検査を受診できる体制をつくる。また、密を避けるなどの基本的な対策を継続して呼びかけたい。

問 公共施設利用休止が約2カ月弱続いたが、今後、再拡大した際の対応は、5市町村足並みを揃え対応をしているが、村独自の対応は可能か

答 令和3年7月に奄美大島コロナ警戒レベルについて、島内自治体5市町村での取り決めがなされている。レベルから5までの段階別に公共施設等の対応例があり、レベル5においては原則休館措置、レベル4では利用制限の検討とあるが、あくまで市町村の対応となるため、村としても、直近の発生から期間を限定し、利用制限の解除に努めたい。



勝山 浩平 議員

介護職、保育士の賃上げを！

問 政府は賃金を3%程度、今年2月から引き上げるとしているが、本村の対応は

答 本年2月給与、3月給与分より実施する。

問 賃上げ額はそれぞれ月額いくらか

答 介護職は資格者で5千400円から6千800円程度、無資格者で4千500円から5千400円程度。保育士は資格者で5千100円から6千700円程度、無資格者で4千300円から5千円程度。期末手当にも反映される。

子供の習いごと費用の助成を！

問 学習塾やスポーツ、音楽教室など習いごと費用の助成は

答 児童の学習支援について、再度、内部で検討し保護者の意見を聞きことで取り組みが見えてくると思うので少し時間がほしい。

津波避難対策の強化・充実を！

問 様々な課題解決への取り組み状況は

答 庁舎内で協議している。携帯帯を利用した防災アプリを活用し村情報を提供する。携帯不通エリアは通信状態の良い箇所を調査する。

問 必要とされる防災資機材と配備計画は

答 トイレや防災無線難聴エリア、防寒、食事、街灯、誘導員などの意見が出た。簡易トイ

レなど備蓄品の管理依頼を自主防災組織や事務嘱託員に提言・相談したい。

問 想定される津波の高さと到達時間は

答 村の基準となる津名久で最高水位4.6m、到達時間64分とされている。指定避難場所と海拔を追加記載し、防災マップの内容充実を新年度に図りたい。

問 大和の園とまほろば憩いの里や自力で避難できない在宅の要介護者の避難計画は

答 大和の園は車両での移動などの訓練を行い時間短縮に努める。まほろば憩いの里は社会福祉協議会職員と消防団員の協力を得て対応を図る。村職員の行動指針を作成し、村職員の動員も行う。在宅の要介護者は個別避難計画を作成し避難訓練の方法を考慮して有効な避難に努める。

問 家庭用防災グッズ購入費の助成は

答 最低限必要な避難グッズのチラシを作成し情報提供する。村が備蓄している非常食や飲料水を配布することでも対応を図りたい。

第6次総合振興計画について

問 計画の策定状況は

答 ワークショップの民間委員と役場の意見と計画内容について数値目標等の精査を行っているところ。

問 意見反映のためのワークショップの成果は？村民の意見を反映させた新たな政策はどのようなに盛り込まれるのか

答 住みよい村にするには何に取り組むべきか意見を多数いただいた。村民と共に取り組むために「村民との協働・連携、みんなで進める協働の村づくり」という章を新たに盛り込み、取り組みを具現化させたい。

令和4年第1回定例会あらまし

第1回定例会は3月3日から3月22日までの日程で開かれ、総額31億1500万円の令和4年度一般会計・各特別会計予算や条例改正など23件が上程され、いずれも原案どおり可決されました。



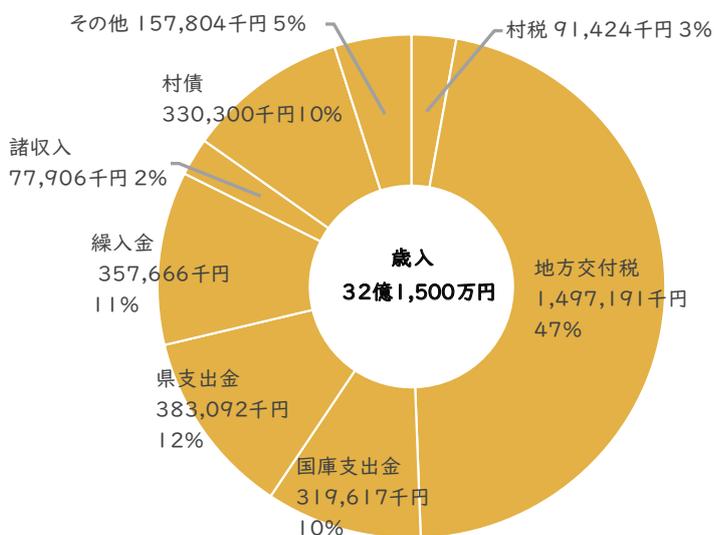
空家解体処分費助成金 100万円

村内にある廃屋を防災または防犯上の観点から取り壊そうとする個人に対して、解体撤去にかかる費用の一部（上限50万円）を助成します。廃屋の解消促進を図り、村内の安全で安心な環境を推進することを目的とします。



防災行政無線設備更新事業 6,300万円

平成22年度に防災行政無線をアナログからデジタル化し10年以上が経過しました。令和4年度から3年計画で国が推奨する規格に更新し、村民へ早く正確な情報を周知できるよう機能強化を図ります。



一般会計歳入の内訳

一般会計 32億1500万円 前年度比 11.6%

会計名	予算額	
一般会計	32億1500万円	
特別会計	簡易水道	6430万8千円
	国民健康保険	2億2443万3千円
	大和診療所	8943万6千円
	介護保険	2億5799万8千円
	集落排水事業	2億2686万4千円
	大和の園	1億8825万9千円
	後期高齢者医療	2933万1千円
総計	42億9562万9千円	

「自然と共生し、安心して住みよい村づくり」を目指して!

当初予算（令和4年度）の主な事業



アマミノクロウサギ飼育研究施設（仮称）整備事業 3億5036万円

ケガをしたクロウサギを保護し、治療リハビリを行い、野生復帰を目指す施設を整備します。また、奄美を象徴するような生き物であるクロウサギを展示することで、自然と接するマナーやルールを学ぶことや、農業との共生についての研究を行います。

合同会社ひらとみ業務委託、農作業等受託業務

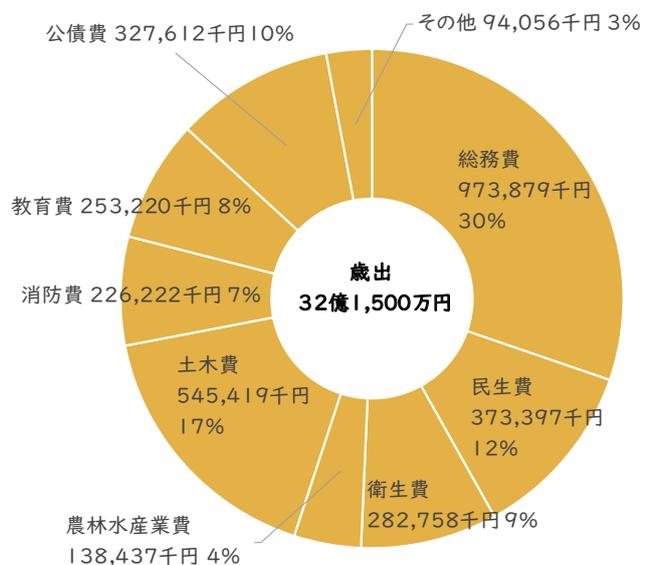
会計年度任用職員制度への移行により、合同会社ひらとみが役場各課の労務作業（主に県道、村道、農道、公園等の管理作業）を役場から委託されて行っています。

農家支援の一環として、畑の除草・薬剤防除・耕運・伐採等、個人では困難な作業を、合同会社ひらとみが代行いたします。



当初予算 7つ基本方針

1. 行財政改革の推進
2. 農林水産業の振興と合同会社ひらとみ運営充実による村の活性化推進
3. 企業誘致による村の活性化対策と定住促進住宅の整備推進
4. 世界自然遺産登録による観光振興の充実と推進
5. 子育て支援と高齢者対策の充実
6. 道路交通網、情報通信網、生活環境の整備促進
7. 安全・安心な大和村づくり



一般会計歳出の内訳

新年度予算審査特別委員会

新年度予算は、予算審査特別委員会を設置して各会計ごとに集中的に審査しました。

委員長報告

委員長 前田 清和



去る、3月3日の本会議において、本予算審査特別委員会に付託を受けました議案第8号、令和4年度大和村一般会計予算についてから議案第15号、令和4年度大和村後期高齢者医療特別会計予算について、以上8件の当初予算議案について、審査内容と結果について報告いたします。

本村の令和4年度予算編成については、村長の施政方針にもあるように、第2期総合戦略として策定された「大和村まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき4つの基本目標の達成に向け、7つの基本方針を定め予算編成が行われております。

本委員会は、3月4日午前中に主な事業の現地調査を行い、名音小学校体育館改修工事、軽石漂着状況、防災行政無線設備更新事業、公営住宅長寿命化計画の説明を受けました。

また、3月16日と17日の二日間においては、村長、副村長、教育長及び関係職員の出席を求め、一般会計及び各特別会計予算案の審査を行いました。審査内容について申し上げます。



大金久中継局設備更新



雨漏りで使用困難な状況



長寿命化計画で延命化を図る

防災対策について

津波警報による避難に対し消防団員の活動に対し感謝とねぎらいの言葉があり、今後要支援者等の避難に対する訓練も必要ではないかとの質疑があり年3回の全体訓練の中で、年1回は今後取り入れたいとの答弁でした。

特産品開発について

本村に特化した商品、ストーリー性のある商品作りは出来ないかとの質疑があり、まるとご体験協議会やパッケージを含んだ専門の事業者への委託を計画しているとの答弁でした。

**空家解体処分費
助成金制度について**

周知方法や処分後の制限が厳しすぎるのではないかと質疑があり、固定資産税の通知書の中にパンフレットを入れる事やホームページ等で制度の通知を行うこと。制限については、今後事業を行いなから内容を検討していくとの答弁でした。

**重層的支援体制
移行準備事業について**

福祉関連の多岐にわたる分野の相談に対し、多角的に相談対応ができることでよりスムーズな対応や相談者の負担軽減を図れるよう、社会福祉協議会と連携して行う事業であるとの答弁でした。

軽石除去について

河川に関しては軽石回収機による実験を行ったり、集落への協力、賃金を支払っての回収作業を続けて行きたいとの答弁でした。



軽石が堆積する戸円川河口

**体験型観光農園や
オーナー制度について**

福元地区のたんかんやしいたけの収穫体験を計画している。また、オーナー制度については、管理費を募り、たんかんの収穫や品物を送る計画をしているとの答弁でした。

農業振興について

福元だいこん、福元いものブランド化について質疑があり、品質の向上、栽培方法などを農家と話し合いながら他の地域に負けない商品生産に励みたいとの答弁がありました。

**大棚・名音線の
未舗装道路について**

境界にかからない部分について簡易な舗装は出来ないかとの質疑があり、地権者との話し合いを行っているが、話が折り合わず、境界に触れない所の簡易舗装を行う考えはあるとの答弁でした。

ギガスクールについて

タブレットの持ち帰りが出ないか質疑があり、セキュリティの関係で家庭でのインターネット接続が出来ない状況であり、3月補正で学校のインターネット環境の整備を行い、家庭への持ち帰りを可能とするよう対策を行う事としているとの答弁でした。



未舗装のため通行が困難に

簡易水道事業について

公営企業法適用について質疑があり、法律の改正により全市町村において簡易水道事業及び集落排水事業を非公営企業から公営企業に移行するよう通知があり、令和6年度事業開始を予定している。内容は資産管理及び経営管理を行うことにより、目に見えた運営状況の把握が出来るとの答弁でした。

大和診療所について

医療システムに関しマイナンバーカード利用について質疑があり、システムは導入されたが薬局との調整を行っているところであるとの答弁でした。

介護保険について

集団指導委託について質疑があり、以前の生き生き運動教室の事で、参加者を多くするため各集落での集まりや老人クラブ活動を利用して事業を行いたいとの答弁がありました。

集落排水事業について

集落民への説明や通行者への配慮が足りないのではないのかとの質疑があり、誘導員の配置や集落内での看板設置を行っているが、今後は更なる配慮を行いたいとの答弁がありました。

大和の園について

集落長屋との関連性や管理について質疑があり、長期入所、短期入所、集落長屋など受け入れが増えることにより、利用者の選択も増える。集落長屋の管理については検討中との答弁がありました。

以上、令和4年度各特別会計予算の質疑終了後に、一括して討論を行い、会計ごとに採決を行いました。

その結果、どの会計においても討論はなく、採決の結果、全会計ともに、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

以上のとおり、予算審査特別委員会に付託を受けました。令和4年度大和村一般会計予算を含む8件の予算については、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

したので、ここに報告いたします。

最後に、当委員会では、委員長の前審査報告と併せまして、議会の意見書を後日取りまとめて提出いたしますので、速やかに対処していただきますよう申し上げ、令和4年度予算審査特別委員会における委員長報告を終わります。



新年度の予算を集中的に審査

地方創生臨時交付金事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止や、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援する事が目的のため、5千792万6千円が予算計上されました。

・事業継続支援臨時作業等助成金 348万円

<事業内容>

観光客が減少し、事業継続が困難な事業者に対し外来種駆除等の作業を依頼し、賃金相当分を助成する事業

・誘客促進補助金 800万円

<事業内容>

宿泊事業者や観光事業者への支援及び島内需要喚起などに取り組んでいく事業

・地域商品券 725万円

<事業内容>

令和2・3年度発行の第3弾として計画

農業創出緊急支援事業

寒暖差の大きさを活かし、高品質なたんかん栽培が行われ、栽培面積も大きく、管理労働力も大幅に増大しており、共同の集出荷施設及び共同利用機械を導入し、農業の生産性向上を図る計画のため4175万円が計上されました。

・福元地区共同利用施設整備工事 3390万円

・農業用機器購入 685万円

スピードスプレイヤー（薬剤を散布する際に使う農機具） 乗用型草刈り機

みなさんのご意見をお聞かせください



年4回発行される議会だよりについては、分かりやすい紙面づくりに努めてまいりますが皆さんからのご意見をお聞かせください。

また、議会に対するご意見やご要望がございましたらお聞かせください。

【お問い合わせ先】議会事務局 電話：0997-57-2216（直通）
FAX：0997-57-2967 メール：gikai@vill.yamato.lg.jp

副村長の選任に同意

副村長

仲新城 長政 氏

議会は、副村長の選任に関する議案に賛成多数で同意しました。

県への陳情

「主要地方道名瀬瀬戸内道の大金久々戸円間トンネルの早期実現について」議長より概要説明を行いました。



大島本島南部議会陳情
(5月16日)

議会の動き

【3月】

3日～22日

第1回大和村議会定例会

23日 地域公共交通会議

24日 各小学校卒業式

27日 宮古崎トンネル開通式

【4月】

2日～4日 関西奄美会

第105回総会・芸能大会

6日 小学校・中学校入学式

8日 議長・局長合同会

12日 キク県議事業説明

21日 大島本島南部議会連絡会

【5月】

10日 第63回奄美群島

市町村議会議員大会

16日 大島本島南部議会陳情

県離島振興町村議長

研修会

17日 町村議長会臨時総会

町村議会議員研修会

25日 各種協議会

30日 第1回大和村議会臨時会

編集後記

今世界では、コロナ感染症の収束もままならない中、ロシアのウクライナへの軍事侵略による破壊行為で、今後の世界平和の在り方が問われ動向が懸念されております。それにともない、日本経済においてもエネルギーの確保安全保障など日々不安な状況が高まりつつあります。このように社会情勢の変動が大きく変わる中ではありますが、この度、自然と共生し安心して住みよい村づくりをめざして、令和4年第一回大和村定例議会で、大和村の新たな事業計画と当初予算案が予算審査特別委員会の審査のうえ可決されました。議会として、予算がスムーズに執行されるよう監査し行政と切磋琢磨しながら、議員一人一人村民のためになるよう誠意努力してまいります。さて、議会だより作成は、

常に皆様が見やすく・読みやすいを目標として、議会事務局ともども意見を出し合いながら紙面づくりをさせて頂いております。まだまだ十分な面もあるかと存じますが、何かお気づきの点ございましたら、ご遠慮なくご指摘くださるようお願いいたします。

市田 実孝

編集委員会

委員長 藏 正
委員 重信 安男
前田 清和
市田 実孝



すももの花(2月)